平成29年6月 定例議会一般質問（一部抜粋内容）

シリーズ 町会長・自治会長の負担軽減等について

議員より 町会・自治会の運営については、単にこの組織への加入者だけでなく、関係するすべての人や組織の意思を尊重するよう常に努めなければならないと思います。

しかしながら、住民の生活や価値観が多様化している現代の町会・自治会では、すべての人や組織の意思を実現することがますます難しくなって来ています。それどころか、多様な人や組織がどのような意思やニーズをもっているかを捉えること自体が極めて困難になっています。

地元町会・自治会では時代の変化に合わせ町会長・自治会長を中心にご尽力されています。地元活動をおろそかにすることなく、奉仕の精神で、行政から要請される各会議に参加されていますが、年々要請件数が多く感じられると各町会長・自治会長からお聞きします。

また、行政からの要請が多く大変だ、下請けだよという声が多くなりつつあります。そして、こんな大変な役職は引き受けたくないと敬遠されるため町会長・自治会長の後継者探しが年々難しくなって来ているので、何とかならないかとご意見が寄せられています。

そこで、町会長・自治会長の負担軽減策を考えて頂きたく、質問いたします。

(1)町会長・自治会長が参加する会議数について

市は、それらの会議が何回開催しているか把握しているのかについて。

(2)町会長・自治会長が参加する会議の時間帯について

平成28年6月の一般質問の際に、町会・自治会からの代表者の予定をスケジュール表にまとめているとのことでしたが、同日内で複数の会議等の開催や、時間までが重なっているケースも依然としてまだあります。会議等を開催する時間帯を工夫し、効率的に参加できるようにできないかについて。

市民生活部長より **(1)町会長・自治会長が参加する会議数について**

平成28年度の会議等の開催数につきましては、年間で171回でございました。

(2)町会長・自治会長が参加する会議の時間帯について

現在、会議の重複を避けるために作成しております町会長・自治会長のスケジュール表を、庁内で活用できるよう働きかけているところです。

今後、それぞれの会議における委員の選任について再考を促し、町会長・自治会長の負担軽減の観点から、会議の主旨を明確に伝え、可能な会議等については、町会長・自治会長以外の方なども代表として選任できるよう、庁内関係部局に働きかけていきたいと思います。

議員より 平成28年6月の一般質問で、会議やイベントを開催しない曜日を定めてはどうかとお願いご要望をしましたが、現在の状況はどうなっているか。

市民生活部長より 平成29年5月の町会連合会総会において、審議が行われ、会議等を開催しない曜日を金曜日とすることで、決定されました。

これを受け、町会長・自治会長が出席する会議やイベントについては、できる限り、金曜日を外して、日程を決定するように、庁内各部局及び関連団体に依頼したところです。

議員より それぞれの地域の代表者であり、協働によるまちづくりを目指す戸田市にとっては、町会長・自治会長の協力は欠かせないわけですから、町会長・自治会長が地元の地域において、課題解決やコミュニティの醸成、町会・自治会運営に注力できるようにしてほしいと思います。そのためには、市が過度の負担をかけないように、負担軽減に向け、できることは、たとえ少しずつであったとしても着実に進めていって頂きますよう強く要望いたします。

平成29年7月に九州地方で発生した豪雨災害で被害に遭われた方々へ
一日も早く普段の生活に戻られますようお祈り申し上げます。

世界的に突発的な災害が増えています。市民の皆様におかれましても、戸田市ハザードブックを事前にご覧頂き、普段から河川監視カメラ[市内の河川5か所：菖蒲川（下前谷橋）、緑川（喜沢橋）、上戸田川（本村上橋）、笹目川（根木橋上流）、さくら川（聖橋）]や土のうステーション（市内17か所）などを認識し、気象は戸田市気象情報などで早め早めにご確認ください。マンション及び事業所防災資器材整備補助金制度の活用もできます。いずれも戸田市ホームページに掲載があります。（「戸田市」で検索、「くらしの情報」→「防犯・防災・災害」）

スポーツ大会出場選手等助成金について

議員より スポーツ活性化に向けた取り組みが各自治体で行われていますが、戸田市でもスポーツを頑張った選手へスポーツ大会出場選手等助成金というものが存在しています。ところが、このスポーツ大会出場選手等助成金について、中々その条件をクリア出来ず助成金が受けられない選手が多数いると各団体、各選手から聞いています。

この助成金制度を緩和することが出来ないか。

市民生活部長より スポーツの世界も、新たな種目や、団体が生まれ、育っていることも実情として理解しております。市といたしましては活動内容を十分に確認しながら、市のスポーツの推進に資するものと判断できれば、柔軟に対応して参りたいと考えております。

議員より 2020年東京オリンピック・パラリンピックを3年後に控える中、戸田市としてオリンピックを目指す選手や、世界で活躍する選手に対して、何か応援をするような制度を考えてみてはと思います。

市民生活部長より 市民の皆様、また将来世界で活躍する選手を目指す子どもたちの夢や希望に添えるような制度を検討して参りたいと考えております。

現行の大会に出場するための助成制度や、大会で優秀な成績を収めた方への新たな褒賞制度の二つの支援を実施していくことで、2020東京オリンピック・パラリンピックに向け、またこれを契機に、戸田市におけるスポーツの発展に努めて参りたいと考えます。

住所表記に係る課題について

議員より 現在、新曽地区で進められている新曽第一及び第二土地区画整理事業並びに新曽中央地区では、住所表記をどのように考えているのか。

都市整備部長より 土地区画整理事業の進捗状況でございますが、新曽第一地区については、事業進捗を示す新たな土地の利用率である“使用収益開始率”で、平成28年度末時点において75.5%となっております。

両地区とも、完了年次の見通しがたった段階で、地区の関係者のご意見を伺い、検討してまいりたいと考えております。

次に、新曽中央地区における基盤整備の進捗を示す「道路や公園・広場の計画面積に対する整備済み面積の割合」につきましては、平成28年度末時点において、道路については2.6%、公園・広場については7.1%となっております。

ご質問の住所表記の見直しについては、まだ決まっていない状況ではございますが、基盤整備の進捗状況を勘案し、地区の関係者のご意見を伺い、見直しについて検討してまいりたいと考えております。